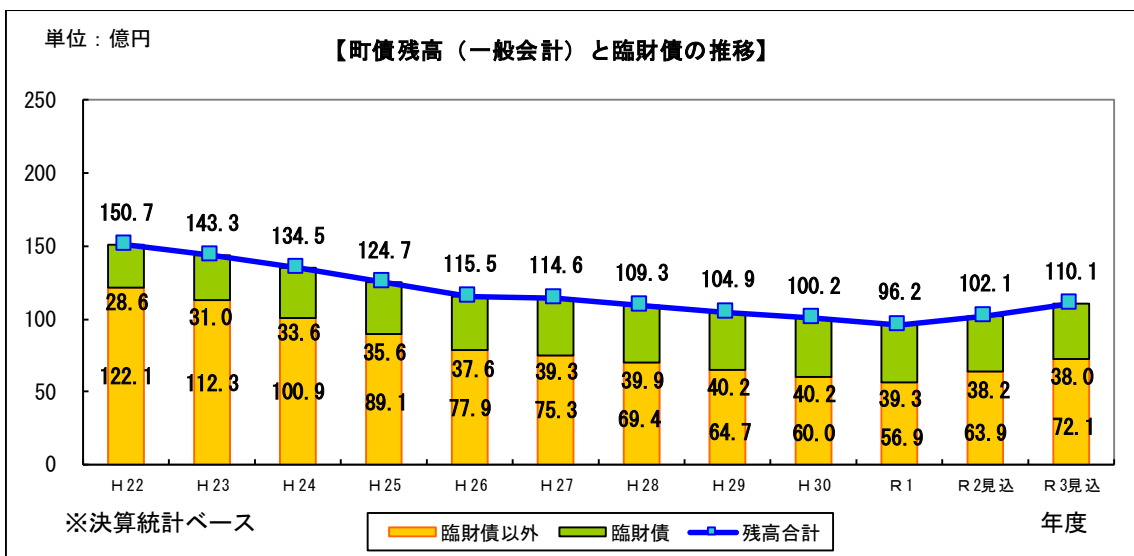
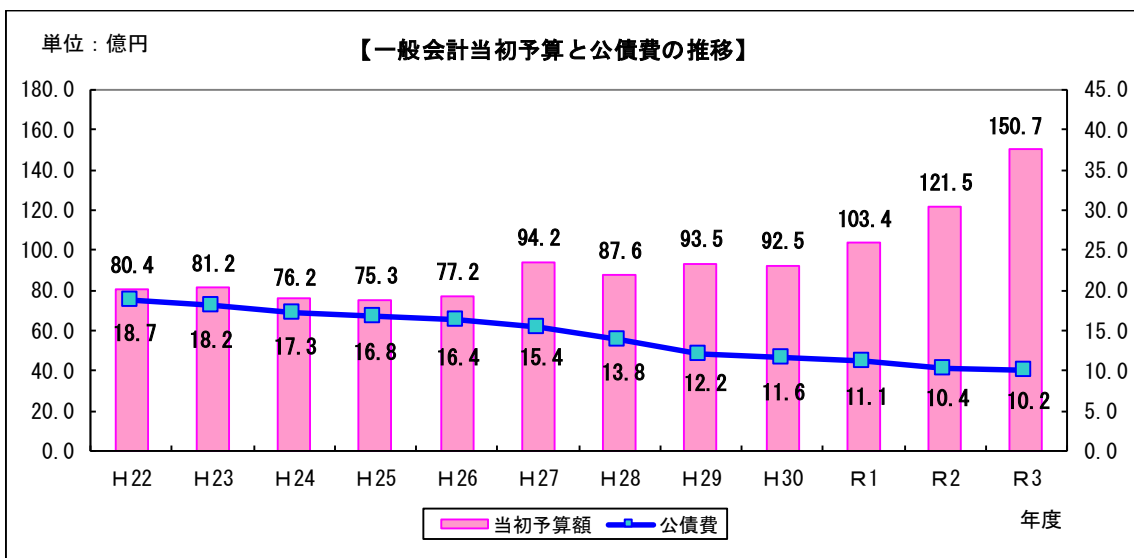
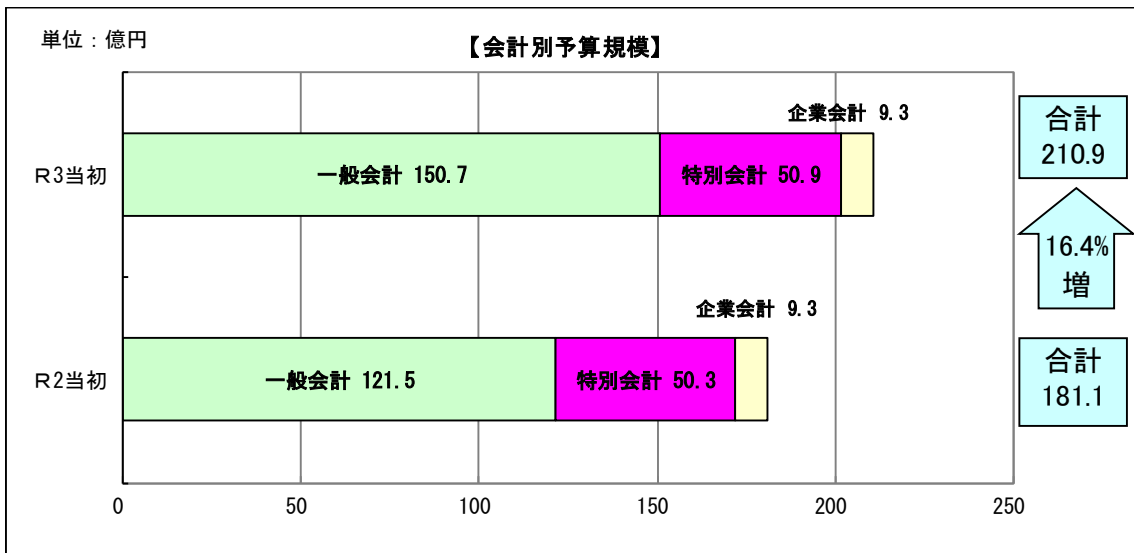
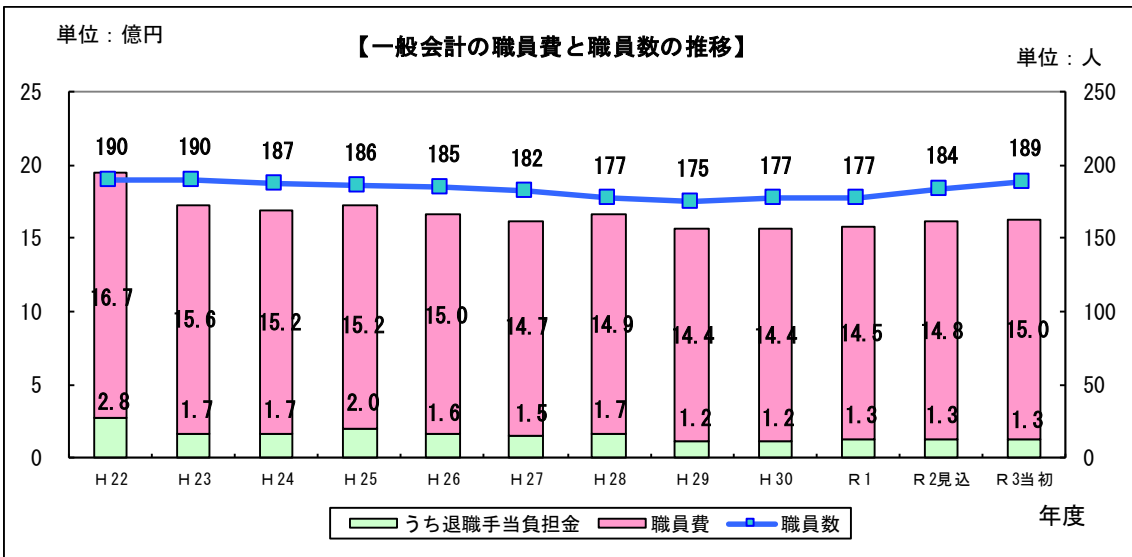
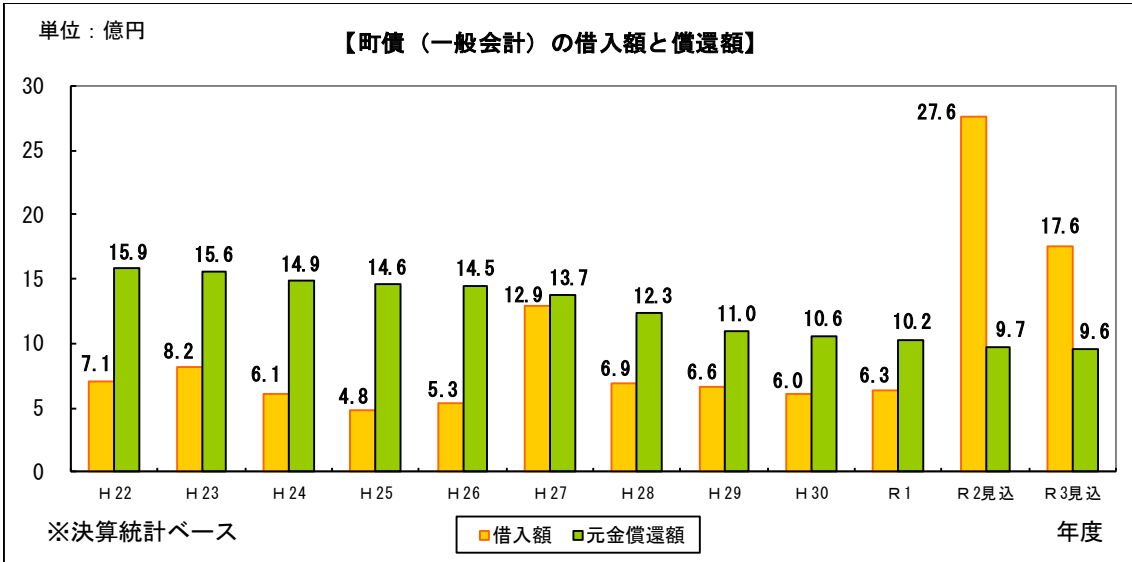


令和3年度
当初予算の概要（資料編）

当別町総務部財政課

■ 令和3年度 一般会計当初予算の全体像





性質別経費の状況（一般会計）

（単位：千円・％）

性質別名称	令和3年度		令和2年度		比較	
	総額	構成比	総額	構成比	増減額	増減率
消費的経費 (A)	9,541,868	63.4	7,894,193	65.0	1,647,675	20.9
義務的経費	3,628,215	24.1	3,602,994	29.7	25,221	0.7
人件費	1,732,972	11.5	1,718,312	14.2	14,660	0.9
扶助費	873,233	5.8	840,922	6.9	32,311	3.8
公債費	1,022,010	6.8	1,043,760	8.6	▲ 21,750	▲ 2.1
その他	5,913,653	39.3	4,291,199	35.3	1,622,454	37.8
物件費	1,669,204	11.1	1,335,929	11.0	333,275	24.9
維持補修費	514,800	3.4	526,268	4.3	▲ 11,468	▲ 2.2
補助費等	3,729,649	24.8	2,429,002	20.0	1,300,647	53.5
その他経費 (B)	2,883,215	19.1	2,448,138	20.2	435,077	17.8
積立金	1,720,163	11.4	1,308,371	10.8	411,792	31.5
投資及び出資金	57,327	0.4	23,676	0.2	33,651	皆増
繰出金	1,105,725	7.3	1,116,091	9.2	▲ 10,366	▲ 0.9
貸付金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
投資的経費 (C)	2,640,011	17.5	1,801,107	14.8	838,904	46.6
普通建設事業費	2,640,011	17.5	1,801,107	14.8	838,904	46.6
補助事業	2,433,106	16.1	1,194,315	9.8	1,238,791	103.7
単独事業	146,798	1.0	566,556	4.7	▲ 419,758	▲ 74.1
道営事業	33,327	0.2	21,662	0.2	11,665	53.9
受託事業	26,780	0.2	18,574	0.1	8,206	44.2
災害復旧事業費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
予備費 (D)	5,000	0.0	5,000	0.0	0	0.0
合計 (A)+(B)+(C)+(D)	15,070,094	100.0	12,148,438	100.0	2,921,656	24.0

令和 3年度 当初予算における主な事業【部署別】

※（ 千円）は、前年度当初予算額

【 企 画 課 】

○北海道医療大学連携推進プロジェクト事業（継続）

事業費： 2,994 千円（ 2,994 千円）

北海道医療大学と当別町との包括連携を推進し、新生活応援事業など医療大学生の町内居住を促進するプロジェクトを協働で行うための負担金を支出する。

○当別町コミュニティバス運行事業（継続）

事業費： 26,778 千円（ 24,656 千円）

「当別町コミュニティバス(当別ふれあいバス)」の運行主体である当別町地域公共交通活性化協議会に対し負担金を支出し、官民共同によるコミュニティバスの運行を継続する。

○月形当別線バス運行事業補助金（継続）

事業費： 21,198 千円（ 26,089 千円）

札沼線（北海道医療大学駅-新十津川駅間）の代替交通として石狩当別駅-旧石狩月形駅間を運行するバス事業に対して、月形町とともにバス運行に係る経費の補助を行う。

○当別町地域間交流拠点施設(道の駅)指定管理事業（継続）

事業費： 38,209 千円（ 38,209 千円）

「北欧の風 道の駅とうべつ」の管理運営について、指定管理者制度を継続する。

【 事業推進課 】

○新庁舎整備事業（継続）

事業費： 3,000 千円（ 3,000 千円）

役場庁舎は築 50 年と老朽化が進んでおり、昨今の自然災害等の発生状況を鑑み、耐震性の確保はもとより、非常時の行政運営に備えるためにも、早期の更新が求められている。更新にあたっては、事業費、候補地等様々な条件、課題の整理が必要となることから、大枠となる基本構想をまとめ、具体的な条件設定を行う基本計画策定に向けた準備を行う。

○JR札沼線新駅設置事業（継続）

事業費： 931,000 千円（ 60,000 千円（R2補正））

道の駅、民間工場見学施設、札幌市との近接と恵まれた太美地区の立地条件を活かし、公民連携のもと、新しいまちの顔として新駅を設置することで、当別町の魅力を発信するとともに新たな人の流れを創出し、交流人口の増加による町の発展を目指す。

【 環境生活課 】

○町内会街路灯LED化事業（継続）

事業費： 2,549 千円（ 3,948 千円）

地球環境への負荷が少ない省エネルギー効果のある LED 街路灯の設置を促進し、犯罪のない安心・安全なまちづくりを推進するため、町内会街路灯の LED 化への補助を実施する。

○消費者行政強化事業（継続）

事業費： 5,740 千円（ 5,428 千円）

全国で増大している特殊詐欺や消費生活のトラブルに町民が巻き込まれないための対策として、消費生活相談員を配置した消費生活相談窓口を設置するとともに、町内関係機関と設立した消費者被害防止ネットワークを活用し、消費者被害の未然防止を図る。

○町内会運営費補助金（継続）

事業費： 8,315 千円（ 9,015 千円）

町内会活動は、防犯、交通安全、高齢者の見守りなどに加え、町民を災害から守り、安心・安全に暮らすことのできるまちづくりに非常に重要な役割を果たしている。この地域の根幹を支えるコミュニティ活動の推進を図るため、町内会活動に係る経費への補助を実施する。

○合併処理浄化槽設置整備事業（継続）

事業費： 3,056 千円（ 3,056 千円）

下水道整備区域外からの生活排水による水質汚濁を防止するため、合併処理浄化槽の設置費用の補助を行い、生活環境や自然環境の保全を図る。

【 保健福祉課 】

○抗体検査事業（継続）

事業費： 680 千円（ 680 千円（R2 補正））

高齢者施設等で新型コロナウイルス感染症の陽性者が発生した際に、必要者に抗体検査を実施することで、より明確に陽性者を特定し適切な感染拡大防止対策を講じることによりクラスター発生防止を図る。

○子ども医療費助成事業（継続）

事業費： 23,811 千円（ 18,038 千円）

通院医療費の助成対象を小学校卒業まで、入院医療費の助成対象は高校卒業まで実施し、子どもの健康の保持増進と子育て世代の経済的負担の軽減を図る。

○地域福祉計画運用事業（継続）

事業費：2,970千円（71千円）

「第3期当別町地域福祉計画」の進捗管理を行うとともに、令和4年度から始まる第4期計画の策定を行う。

【介護課】

○成年後見等支援事業（新規）

事業費：3,035千円（0千円）

認知症、知的・精神障がいなどの理由により判断能力が不十分で不動産や預貯金などの財産を管理したり、各種契約の締結などが難しい方々に対して、成年後見制度の利用支援を行う成年後見支援センターを当別町・新篠津村と共同でゆとろ内に設立する。センターでは、成年後見制度の普及啓発や相談受付、市民後見人の育成等をし、住み慣れた地域で安心して暮らしていけるようにする。

○地域生活サポーター活動支援事業（継続）

※介護保険特別会計

事業費：2,215千円（1,825千円）

公的サービスに該当しない外出や家事支援を必要とする高齢者に対し、有償ボランティア（地域生活サポーター）によるサポートを実施する。活動を行う有償ボランティアに対しては、活動支援ポイントを付与し、貯まったポイントは商工会発行の商品券として還元し活動を支援するとともに、地域生活サポーターを含む有償ボランティアの養成講座を実施する。

○買物支援事業（継続）

※介護保険特別会計

事業費：1,976千円（1,973千円）

買物に困難を抱え閉じこもりがちな高齢者に対し、有償ボランティア（買物御用聞きサポーター）による買物の御用聞きを通じて高齢者の見守り活動、買物支援を行う。活動を行う有償ボランティアに対しては、活動支援ポイントを付与し、貯まったポイントは商工会発行の商品券として還元し活動を支援するとともに、商品の配達を町内の協力商店により行う。

【農務課】

○担い手確保推進事業（継続）

事業費：3,759千円（6,388千円）

当別町農業総合支援センターを中心に、新規就農者への研修・就農段階の支援（座学研修、地域おこし協力隊制度の活用、スマート農業実証事業）を行うとともに、就農意欲が高い農外参入者を確保するため、新規就農フェア等に出展する。

○道営農村地域防災減災事業（新規）

事業費： 6,000 千円（ 0千円）

道営農村地域防災減災事業を活用し、茂平沢第一貯水池の堤体改修に係る調査計画事業を実施する。

【 エネルギー推進室 】

○当別町一体型義務教育学校木質バイオマスボイラ導入事業（新規）

事業費： 15,851 千円（ 0千円）

令和4年度開校予定の当別町一体型義務教育学校に木質チップボイラを導入し、エネルギーの地産地消の推進及び再生可能エネルギーによるCO2削減を図る。

○道営森林管理道「曽根の沢線」開設事業負担金（継続）

事業費： 21,500 千円（ 14,000 千円）

間伐適齢期を迎えた森林の整備を進め、持続的な間伐材の販売を促進し、未整備森林の解消による山地保全の安定化を図るため、道営事業による林道を開設する。

○造林省力化技術構築事業（新規）

事業費： 2,000 千円（ 0千円）

高性能林業機械を使用した無立木地の森林化を促進することで、従来の人力作業に依存した森林整備からの省力化を図り、新たな森林整備の事業体系を構築する。

【 商工課 】

○中小企業コロナウイルス対策支援事業（新規）

事業費： 4,200 千円（ 0千円）

町内中小企業(小売・飲食・宿泊・サービス業)が、コロナ対策を講じるための備品整備や情報発信を行う広告宣伝の経費を一部補助する。

○企業立地促進事業（継続）

事業費： 21,597 千円（ 1,800 千円）

地域経済に高い普及効果をもたらす企業誘致を実現させるため、道内外企業への個別訪問及び首都圏等での企業誘致フォーラムへの出展など、JA・商工会とも連携した誘致活動を促進する。

【建設課】

○道路照明施設更新事業（継続）

事業費：20,000千円（20,000千円）

点検調査に基づき、照明灯具をLEDへ更新することにより、長寿命化およびライフサイクルコストの縮減を図る。

○町道除排雪事業（継続）

事業費：387,600千円（375,000千円）

冬期間において、快適な町民生活及び産業・経済活動を確保するため、除排雪業務を行う。また、当別町除排雪連絡協議会、除排雪業者と連携を図りながら、効率、効果的な排雪作業を図る。

○町道中央十九線防雪柵設置事業（継続）

事業費：13,000千円（73,000千円）

冬期間の吹雪による視界不良や吹き溜まりによる車両の立ち往生が多発していることから、防雪柵の設置により安全な通行を確保する。

○橋梁長寿命化修繕事業（継続）

事業費：94,000千円（158,300千円）

橋梁長寿命化修繕計画に基づき、老朽化が著しく、早期に措置を講ずる必要のある19線橋の長寿命化修繕工事を実施し、施設の延命化を図り、安心・安全な道路環境を確保する。

○パンケチュウベシナイ川河川浚渫事業（継続）

事業費：16,000千円（16,000千円）

護岸整備区間において、河床に土砂が堆積し河川の流加能力が低下しており、集中豪雨時には河川が溢水し浸水する恐れがあることから、土砂を除去し機能回復を図る。

○東町団地改修事業(公営住宅長寿命化事業)（継続）

事業費：19,822千円（20,877千円）

町営住宅長寿命化計画に基づき東町団地改修工事を行い、住環境の改善と町営住宅の健全化を図る。

○公共賃貸住宅整備事業（継続）

事業費：37,220千円（70,635千円）

子育て世帯をはじめとして移住・定住の促進を図るため、公共賃貸住宅の整備（下川教職員住宅1棟4戸の改修）を行う。

【 教育委員会 学校教育課 】

○教育情報システム運用事業（新規）

事業費： 24,690 千円（ 0 千円）

「GIGA スクール構想」において整備した「教育系ネットワークシステム」及び「校務系ネットワークシステム」を安定的かつ安全に使用できるよう、運用・保守管理を実施する。

○当別町一体型義務教育学校建設事業（継続）

事業費： 2,368,474 千円（ 860,128 千円）

1年生から9年生までが一同に集い、「知・徳・体」を備えた世界に通用する人材を目指し、学習や部活動などの教育活動を展開する新たな義務教育のスタイルを実現するための校舎を建設する。

○小中一貫教育推進事業（継続）

事業費： 11,879 千円（ 11,816 千円）

充実した指導体制による児童生徒の学力向上を目指すため、「学力向上推進講師（会計年度任用職員）」（英語 2 名、算数（数学）2 名）を各中学校区に配置する。児童生徒・教職員の交流を促進するため、小学校高学年の中学校登校、中学校教員の小学校への乗り入れ授業等の取組を行う。教職員の資質向上を目的として、今日的な教育課題をテーマとした研修を実施する。

また、とうべつ学園の開校に向け、校歌の制作やシラバス「学びのハンドブック」の作成など、開校準備に関する業務を行う。

○コミュニティ・スクール運営事業（継続）

事業費： 723 千円（ 792 千円）

小中一貫教育を地域全体で進めるため、学校・保護者・地域住民等で構成する「学校運営協議会」（コミュニティ・スクール）による「地域とともにある学校」づくりを推進する。

○学校給食費管理運営事業（新規）

事業費： 54,301 千円（ 0 千円）

学校給食費を私会計から公会計化し、給食費の透明化を図り、口座引き落としが可能な金融機関を拡充する。各学校において教職員の事務の軽減を図られ、保護者においては金融機関の利便性が向上する。給食センターでは、給食費の収納率の向上に繋がり、提供する給食の更なる質の向上を図る。

【 教育委員会 社会教育課 】

○読書活動推進事業（継続）

事業費： 8,006 千円（ 6,305 千円）

図書館蔵書の充実、図書館情報専門員（司書）の任用、利用者の視点に立った図書館運営等の読書環境の整備を行い、読書活動を推進する。

○社会体育施設等指定管理事業（継続）

事業費： 44,164 千円（ 44,058 千円）

社会体育施設等（総合体育館、白樺コミュニティセンター、当別小学校水泳プール）の指定管理を継続し、民間の活力により住民サービスの向上を図る。

【 教育委員会 子ども未来課 】

○保育支援者配置補助事業（新規）

事業費： 2,400 千円（ 0 千円）

保育士の負担軽減と働きやすい職場環境を整えるため、保育設備や遊具の消毒、給食の配膳・片付け、寝具の用意・片付けといった保育周辺に係る業務を行う保育支援者を配置する費用の一部を助成する。

○子育て短期支援事業(ショートステイ事業)（新規）

事業費： 83 千円（ 0 千円）

保護者が病気などの理由により家庭で子どもをみるのが困難になった場合、緊急に養育できる児童養護施設又は里親宅等で短期間預かり、これらの児童及びその家庭の福祉の向上を図る。

【 当別消防署（負担金） 】

○消防団詰所望楼解体事業（継続）

事業費： 1,562 千円（ 693 千円）

当別消防団第2分団（西当別地区）に配置されている、老朽化した望楼を解体する。

◆-----
☆令和2年度当初予算計上 終了・廃止等の主な事業

● 輪作体系確立支援事業	2,970 千円
● 農業用ため池ハザードマップ作成事業	50,000 千円
● 西当別小・中学校木質バイオマスボイラ導入事業	171,986 千円
● 森林リモートセンシング技術構築事業	1,500 千円
● 高性能林業機械導入促進事業	6,864 千円
● 民有林管理事業	5,000 千円
● 除雪機械（除雪ドーザ）更新事業	32,400 千円
● パンケチュウベシナイ川河川改修事業	150,000 千円
● 阿蘇公園施設更新事業（公園施設長寿命化事業）	9,000 千円
● 西当別中学校校舎屋上防水工事	13,576 千円

◆-----
☆令和2年度予算 繰越事業

● 当別町 150 年記念事業	29,357 千円
● 高度無線環境整備事業	565,000 千円
● JR 札沼線新駅周辺整備事業	350,660 千円
● 担い手確保・経営強化支援事業	21,107 千円
● 当別町一体型義務教育学校建設事業	1,785,463 千円
● 感染症対策等学校教育活動継続支援事業	3,200 千円